

老齢給付裁定請求書 【記入例】

年金として受給

企業年金基金 老齢給付金裁定請求書

金属事業企業年金基金 御中

令和〇年△月×日提出

① 氏名 (フリガナ) タナカ タロウ 田中 太郎	② 性別 男 女	③ 生年月日 昭和 平成	29年 8月 9日
④ 郵便番号 101-0032	⑤ 住所 東京都千代田区岩本町1-11-11 金属ハイム301	電話: 03 (1234) 5678	
⑥ 加入者番号 211112	⑦ 入社年月日 昭和 平成 令和	7年 2月 8日	入社
⑧ 資格喪失年月日 平成 令和	1年 8月 8日	(<input checked="" type="checkbox"/> 在職中)	
⑨ 希望する送金先 ※ゆうちょ銀行可 金融機関コード (フリガナ) ミツバシロ 0294 三井住友信託 銀行 支店名 528 上野	口座番号 1234567	支店名 田中 太郎	口座名義 タナカ タロウ
⑩ 年金に代えて支給する一時金希望の有無 (いずれか〇で囲んでください)	① 全額年金として受取る 2. 全額一時金として受取る	① 事業所(会社)等から退職手当の支給を受けましたか。 (いずれか〇で囲んでください)	① 受けた 2. 受けてない
⑪ 年金支給繰下げ希望の有無 (いずれか〇で囲み、2をご選択の場合は開始年齢をご記入ください)	① 繰下げを希望しない → 今すぐにお受け取りいただけます。 2. 繰下げを希望する → 希望する受け取り開始年齢 (歳)	※65歳未満で資格喪失した方は65歳まで、65歳で資格喪失した方は70歳まで支給開始を繰下げることになります。	
⑬ 今回、資格喪失したお勤め先 株式会社△△△△金属	連絡先		
⑭ 年金の支給期間について(⑩で「1.全額年金として受取る」を選択された方のみご記入ください。)			
希望する支給期間を〇で囲んでください 5年 10年 15年 20年			

・自己都合等で資格喪失された方は、退職日の翌日
・60歳もしくは65歳到達で資格喪失された方は、お誕生日の前日をご記入ください。

退職金のお受け取りの有無となります。
お勤めの事業所様のほか、中退共・信託銀行・生命保険会社・厚生会などからの支給も対象です。

【添付書類】

- ・生年月日 証明書類
- ・個人番号届
- ・個人番号 確認書類
- ・身元 確認書類
- ・通帳等コピー

2をご選択の方は、必ず希望する受け取り開始年齢をご記入ください。

各支給期間による給付額については、請求書同封の「支給開始年齢別給付額明細表」をご確認ください。

- 【添付書類】
1. 生年月日に関する市区町村長の証明書又は戸籍抄本、その他生年月日を証する書類
 2. 本人確認書類 (番号確認書類、身元確認書類)
 3. 通帳のコピー
 4. 年金での受取り希望の方は、次の書類も添付してください。
 - ・個人番号届
 - ・一時金での受取り希望の方は 次の書類も添付してください。
 5. 一時金での受取り希望の方は 次の書類も添付してください。
 - <退職所得に該当する場合>
 - ・退職所得の受給に関する申告書
 - ・退職所得の源泉徴収票の写し (⑩で「1.受けた」を選択した場合)
 - <一時所得に該当する場合>
 - ・個人番号届
 6. その他、基金からの指示のあった書類
- ※ 今回、繰下げ請求をされる方は、上記書類は不要です。
本人確認書類(身元確認書類)のみご提出ください。

基金種別

--	--	--	--

受付日付印

--

書き方等について分からないことがありましたら、基金までおたずねください。